

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)	授業コード	E002573
担当教員名	工藤 順一		
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	できるだけ日経新聞や大分合同新聞に目を通して大分県の産業を見ておくようにして下さい。		
受講心得	ゼミには、必ず出席して積極的に発言・討論してください。		
教科書	日本経済新聞の記事等教員側が用意します。		
参考文献及び指定図書	(イノベーションと起業家精神)P. F. ドラッカー ダイヤモンド社 「日本でいちばん大切にしたい会社」坂本光司著 あさ出版 「稲盛和夫の実学」稲盛和夫著 日本経済新聞社 その他参考文献については講義の際に指示します。		
関連科目	経営学入門・簿記入門・監査論・管理会計論・その他経営学全般		

授業の目的	工藤ゼミの目的・到達目標は次の通りです。 1. ビジネスの基本となる経営・会計の基礎知識を習得すること 2. 文章(論文)作成能力を育成すること なお、「中小企業診断士」や「公認会計士」、「税理士」などの各種資格を目指している学生にも、勉強の方法等をアドバイスしていきます。
授業の概要	このゼミでは、金融機関や県庁、企業の経営者にもゼミに参加していただき、大分県における産業の歴史や現在の課題や問題点を説明していただき、意見交換も行います。また、企業や官庁を訪問して実際の企業の活動を見学します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ゼミナールⅡの概要説明 ゼミ研究と就職活動の進め方について、概要を説明します。	配布資料 研究課題とその進め方
第2週：大分県の産業の概要説明(1) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第3週：大分県の産業の概要説明(2) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第4週：大分県の産業の概要説明(3) 大分県の産業の概要について、歴史的に振り返りながら見ていきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第5週：グループ研究(1) グループに分かれて、研究のテーマを選択します。研究テーマは、大分県の産業の中で研究のテーマとする業界について絞り込みます。その後、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第6週：グループ研究(2) 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第7週：外部講師との意見交換 県庁の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の産業全体について情報交換や意見交換を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第8週：グループ研究(3) 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館で資料を集めます。	配布資料 研究課題とその進め方
第9週：外部講師との意見交換 金融機関の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の金融業について情報交換や意見交換を行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第10週：グループ研究(4)	

引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。		配布資料 研究課題とその進め方
第11週：グループ研究(4) 引き続き、大分県の産業の中で、研究のテーマとする業界について、図書館等で資料を集めます。		配布資料 研究課題とその進め方
第12週：研究発表(1) グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。		配布資料 研究課題とその進め方
第13週：研究発表(2) グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。		配布資料 研究課題とその進め方
第14週：研究発表(3) グループが研究した業界ごとに、テーマに沿って研究発表を行います。		配布資料 研究課題とその進め方
第15週：総括 これまでの研究内容についての総括を行います。		配布資料 研究課題とその進め方
第16週：期末試験 試験は行いません。研究発表をもって試験といたします。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループで活動しますが、役割分担を決めて分業しましょう。外部の講師も参加するので、積極的に質問や意見交換してください。
【知識・理解】	大分県の産業界を理解するための基礎的な知識を身につけてください。
【技能・表現・コミュニケーション】	業界の理解のためには、日商簿記等の資格を取得し、読み取れるようにしましょう。そのためには簿記検定3級の資格は取得しましょう。
【思考・判断・創造】	研究を進めるに当たり、どの分野の資料をどこで入手するかについてよく考え、判断して行動しましょう。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			15点	
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	研究内容については、毎回簡単なレポートにまとめていただきます。それらの提出をもって出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル:ほぼ満たしている。Bレベル:なんとか満たしている。Cレベル:一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。